

中国における TRIZ の状況

周 賢永 (周贤永、Xian-yong ZHOU)

西南交通大学公共管理学院 四川成都 610031 中華人民共和国

2011 年 10 月 31 日

(和訳: 中川 徹 (大阪学院大学)、2011 年 11 月 8 日)

TRIZ が中国に紹介されたのは 1998 年頃であり、数人の研究者たちが TRIZ と技術革新に関するいくつかの国際会議に参加したのがきっかけである。1998 年から 2006 年の段階では、少数の大学がこの理論を研究し、TRIZ についてのいくつかの論文と本を出版しただけであった。それらの大学は、天津大学、河北工業大学、中国科学技術大学、東北大学、精華大学、(私が所属している) 西南交通大学、四川大学、などである。

その頃、少数の大学 (例えば、檀潤華教授が指導する河北工業大学の TRIZ 研究センター (<http://www.triz.com.cn/triz.htm>)) が、TRIZ と技術革新についての研修とコンサルティングを企業に対して行い、TRIZ に基づく CAI ソフトウェアの開発をした。また同時期に、CAI ソフトウェアベンダの Iwint 社も、TRIZ の研修とコンサルティングを行なっている。2005 年から毎年 TRIZ のシンポジウムが河北工業大学で開かれてきたが、まだ当時の中国では TRIZ を知る人も組織もわずかであった。

状況は 2007 年に大きく変わった。それは、中華人民共和国の科学技術省が、イノベーションの方法、特に TRIZ、に多大の注目をしたからである。2007 年には、黒竜江省と四川省とが、イノベーション方法の「パイロット省」として樹立され、これらの 2 省によって多数の企業が「パイロット企業」あるいは「デモ企業」として選定された。その数年後に、江蘇省、天津市、広東省、その他いくつかの地方も、イノベーション方法の「パイロット省」となった。そして、2008 年 11 月に、科学技術省の管轄下に「イノベーション方法学会 (Innovation Method Society) (IMS: <http://www.chinaims.org>) が創設された。この IMS が設立されてから、中国における TRIZ 推進のスピードは非常に速くなった。

この近年、イノベーション方法 (TRIZ) に関する多数の研究プログラムに科学技術省から助成金が出されている。これらの研究プログラムのトピックスは、TRIZ の理論開発、TRIZ と他のイノベーション方法論 (品質機能展開 QFD、公理設計 AD など) との統合、TRIZ と技術開発プロセスとの統合、そして、TRIZ の企業や諸組織への推進、など多岐に渡っている。現在では、中国の大学、企業、諸組織に属するずっと多数の人々が、TRIZ について研究し、使い、知るようになった。

そのような人々が互いに交流するための場が、少なくともつぎの 3 つある。

1. 「イノベーション方法高レベルフォーラム」: イノベーション方法学会 (IMS) 主催、毎年 11 月～12 月に開催。
2. 「中国 TRIZ アドバンスセミナー」: 河北工業大学主催、毎年 7 月～8 月に開催。
3. 「海峽兩岸イノベーション方法 (TRIZ) シンポジウム」: 西南交通大学と台湾 TRIZ 協会とが合同で主催し、毎年 11 月～12 月に開催。

しかし、これらの学会／シンポジウムはまだ、日本 TRIZ シンポジウムや ETRIA TRIZ Future Conference (欧州 TRIZ 協会主催) や (米国の) TRIZCON などのように国際的ではないので、あなたがたにはあまり知られていないだろう。「第 4 回海峽兩岸イノベーション方法 (TRIZ) シンポジウム」が今年(2011 年) の 12 月 26 日に黒竜江省哈爾濱(ハルビン)市東北林業大学で

開催される。[ついては、あなたに、このシンポジウムに出席して、USIT/TRIZ その他の TRIZ とイノベーションに関連するトピックについて、講演してもらえないでしょうか？]

事実として、われわれは日本の TRIZ 研究者としばしば交流してきた。例えば、私の上司である 陳光教授 (西南交通大学公共管理学院長、IMS 理事) は、2009 年 4 月に日本を訪問し、日本におけるイノベーション方法 (TRIZ) の状況を調査した。教授は産業能率大学の TRIZ 専門家である黒澤慎輔氏に会い、日本における TRIZ の発展と推進について同氏から詳細な説明を受けた。その2ヶ月前に、陳教授は「中国本土における TRIZ の研究と普及：現状と問題点」という記事 (中国語) を公表しており、中国本土での TRIZ の状況をより詳しく紹介している。[その記事をこのメールに添付しているので、興味があれば参照してください。]

[ハルビンでの第4回海峽兩岸イノベーション方法 (TRIZ) シンポジウムであなたにお会いしたいと願っています！また、第7回日本 TRIZ シンポジウムに関する新しい情報を送ってくださって感謝します！]